

県民目線のデジタル行政で やさしい社会を実現します。

知事としての4期目の県政が始まりました。公約に掲げた「県民目線のデジタル行政でやさしい社会を実現」を目標に、新たな気持ちで頑張りたいと考えています。

コロナ禍で本県は、デジタルの力を活用したさまざまな神奈川モデルを打ち出し、全国をリードしてきました。その一例がLINEを活用した健康観察や、AIコールによる安否確認など、デジタルの力で療養者一人一人をサポートする仕組みです。

今後は、こうしたコロナ禍で培った経験と実績を基に、県民目線に立ったデジタルの活用で、一人一人に「やさしい社会」を実現していきます。

例えば「少子化対策・子育て支援」です。少子化の背景には、出産や育児、金銭面、仕事との

両立などさまざまな不安があります。デジタルの力で一人一人に寄り添い、その不安を取り除いていく、あるいは当事者の要望を吸い上げて施策に結び付けていく、そうした仕組みを作り上げていきたいと考えています。

また、横断歩道やセンターラインなどの「道路標示」についても、多くの県民の皆さんから「消えかけて見えにくい」といった声をいただいています。AIを活用して道路標示の摩耗状況を点検し、それをデータ化して、警察や土木事務所などが連携し速やかな改善につなげていきたいと考えています。このほか、「医療」や「防災」など県民の「いのち」に関わる分野でも、デジタルの力をさらに活用していきます。

この4月に施行した「当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる社会を目指して～」を、具体的な形にしていくことも私の大きな使命です。虐待の事実が明らかになった県直営の障害者支援施設「中井やまゆり園」では、民間のアドバイザーの力を借りながら、職員が一丸となって改革を進めていますが、その取り組みはまだ緒についたばかりです。これをしっかり成し遂げることにまずは全力を傾けます。

初心に立ち返り、県民の皆さんとともに「いのち輝くマグネット神奈川」を実現してまいります。

神奈川県知事 黒岩祐治



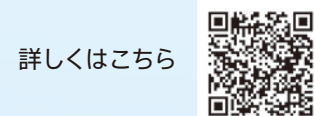
新型コロナウイルス感染症が5類へ

どう変わる？ 私たちの生活

5月8日から、**新型コロナの感染症法**※上の位置付けが**5類に変更**されます。医療提供体制や私たちの生活にどのような影響があるのかをご紹介します。

※感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

5類に移行しても、ウイルスが消えるわけではありません。手洗い、換気などの基本的な感染防止対策はこれからも継続しましょう。



詳しくはこちら

変わること

感染者への外出制限、隔離などの制限がなくなります

感染時の公共交通機関の利用 → 可能です

宿泊療養施設※ 療養期間中の外出制限

※要介護等で自宅療養ができない高齢者に対しては例外があります

濃厚接触者の待機 → なくなります

感染者全てを把握しなくなります

県の陽性者登録窓口 → 廃止します

感染者の健康把握 パルスオキシメーター・食料配布

→ なくなります

医療費が変わります

外来医療費 → 診療や解熱剤などは自己負担になります

コロナ治療薬 → 9月末まで無料です

	新型コロナウイルス (解熱剤とラゲブリオ処方)	季節性インフルエンザ (解熱剤とタミフル処方)
自己負担3割	例 4,170 円	例 4,450 円
自己負担1割	例 1,390 円	例 1,480 円

入院医療費 → 9月末まで自己負担額に最大2万円を公費支援します

検査費用は自己負担になります

変わらないこと

ワクチン接種は令和5年度は引き続き自己負担なく受けられます

高齢者、医療従事者等
春夏(5月から)と秋冬(9月から)の2回接種

その他の方
秋冬(9月から)に1回接種

コロナに関する電話相談窓口は、設置を延長します

- 発熱時の受診相談
- 陽性判明後の体調急変時の相談

☎(0570)056774 8~22時

※一部のIP電話など上記番号につながらない場合は ☎045(285)0536

横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市・藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町にお住まいの方は各市町のコールセンターへお問合せください。

【上記記事に関する問合せ】県新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル ☎(0570)056774 ※一部のIP電話など左記番号につながらない場合は ☎045(285)0536

「やまなみ五湖」とは、県北西部に位置する相模湖、奥相模湖、津久井湖、丹沢湖、宮ヶ瀬湖の5つのダム湖のこと。神奈川県の高貴な水資源を育む“水がめ”であると同時に、豊かな自然の宝庫でもあり、周辺には観光スポットがあります。キャンプやハイキング、工芸品づくりなどを体験して、郷土の料理に舌鼓を打つ。都会では味わうことのできない楽しさを、ぜひ満喫してください。

お出かけスポットや季節のイベントなど、詳しくは「神奈川やまなみ五湖navi」から



やまなみ五湖の恵みを体感!



僕のおすすめは山北町にある「中川の箒スギ」と「大野山」。箒スギは高さ約45mにもなる推定樹齢約2000年の大杉です。大野山は、てっぺんに登ると北側に丹沢湖と丹沢山塊、南側に足柄平野を一望できます。山から平野までの水の流れを一目で見られる、全国的にも珍しい場所なんです。

いしだ たかひさ
石田 貴久さん (かながわ水源地域の案内人)

石田さんが林業の傍ら育てる「八丁やまめ」が入った「みほ弁」
※10個から販売、要事前予約
問合せ: 落合館 ☎0465(78)3190



やまなみ五湖へ 出かけよう

相模湖地域で激辛唐辛子「キャロライナ・リーパー」などを生産しています。地域の活性化に貢献できるように、相模原を唐辛子の一大生産地にしたいと思っています。

たけうちりょう
竹内 僚さん

さがみ湖うみくんふあーむ 世界一辛い唐辛子 キャロライナ・リーパー入り七味 辛さの中にフルーティーさが漂う七味唐辛子です。 1個432円(税込)



やまなみグッズ



詳しくはこちら



やまなみ五湖地域の野菜・果物を使った食品やスイーツ、お酒や工芸品などの商品もあります。旅の思い出やお土産に、ぜひお買い求めください。

猟師として、畑などを荒らしてしまう動物を自分で捕獲し、革製品を作っています。製品を通じて命に感謝して大事にいただくことを伝えられたらうれしいです。

たけうち とうこ
竹内 陶子さん (かながわ水源地域の案内人)

とこはむの革製品
使うほどに味わいが出る経年変化も楽しめます。キーホルダー-1,100円(税込)など



【上記記事に関する問合せ】県土地水資源対策課 ☎045(210)3124 FAX045(210)8820

「風薫る」

(写真:横須賀市・出浦 進さん)

ポピー園の空高く泳ぐこいのぼり。こいのぼりを見上げる人とこいのぼりの風になるまで待ちました。

(令和4年5月撮影)

■場所:くりはま花の国(横須賀市)

交通:JR久里浜駅または京急久里浜駅から徒歩15分



編集/発行(毎月1日発行)
〒231-8588 横浜市中区日本大通1
神奈川県 政策局 知事室
☎045(210)1111(代表)
☎045(210)3662 FAX 045(210)8834



県公式Twitter
@KanagawaPref_PR

※記事は4月17日時点の内容であり、変更になる場合があります

絵本『おおきなかぶ』 その作者の世界にせまる。

会期: 4月22日(土)~7月2日(日)

▶前期:4月22日~5月28日 / ▶後期:5月30日~7月2日
※前期後期で展示替えあり

会場: 県立近代美術館 葉山

生誕110年傑作誕生・佐藤忠良



佐藤忠良『おおきなかぶ』絵本原画 26-27頁 1962年5月刊 紙、水彩・インク・コンテ・鉛筆 宮城県美術館蔵 photo©佐々木香輔 [本図は後期展示]

戦後の日本彫刻史に大きな足跡を残した彫刻家・佐藤忠良(1912-2011)。代表作として知られる彫刻《群馬の人》と《帽子・夏》、そしてロングセラー絵本で小学校の教科書にも掲載されている『おおきなかぶ』の作画がどのように誕生したのか、作家が収集し生涯手元においた西洋の美術コレクションを手掛かりとした創造の軌跡をご覧ください。

- 開館時間:9時30分~17時(入館は16時30分まで)
- 休館日:月曜
- 観覧料:20歳以上1,200円/20歳未満・学生1,050円/65歳以上600円/高校生100円/中学生以下・障害者手帳等をお持ちの方は無料
- 交通:JR逗子駅または京急線 逗子・葉山駅からバス「三ヶ丘・神奈川県立近代美術館前」下車
- 所在地:葉山町一色2208-1

※同日に限り「生誕110年 傑作誕生・佐藤忠良」展の観覧券で、コレクション展「野崎道雄コレクション受贈記念 見えないもの、見たいところ」をご覧いただけます。



佐藤忠良《帽子・夏》1972年 プロンズ 宮城県美術館蔵 photo©佐々木香輔

【上記記事に関する問合せ】 県立近代美術館 葉山 ☎046(875)2800 FAX 046(875)2968

ともに生きる:

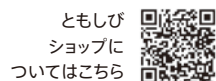
＼今月は、ともしびショップ県民センター店の皆さんに伺いました!／



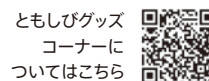
このコラムでは、「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念に共感していただいている方々のメッセージをご紹介します。

ともに生きる福祉社会づくり

「ともしびショップ」は、障がい者がともに働き、仲間や地域の方とのふれあいを通して、自立と社会参加を実現していくための喫茶店や売店で、県内各地の公共施設や公園などにお店があります。横浜駅西口近くの「ともしびショップ県民センター店」は、昨年リニューアルオープンし、おいしいコーヒーやカレーなどを提供しています。また、「ともしびグッズコーナー」では、県内の障害福祉サービス事業所等で製作したクッキーやジャムなども販売しています。ぜひ、皆さんも足を運んでいただけたら幸いです。



ともしびショップについてはこちら



ともしびグッズコーナーについてはこちら



ともしびショップ県民センター店の皆さん



ともに生きる社会 かながわ憲章

ともに生きる社会 かながわ憲章

平成28年10月14日 神奈川県

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

平成28年7月26日、障害者支援施設である県立「津久井やまゆり園」において、大変痛ましい事件が発生しました。このような事件が二度と繰り返されないよう、県と県議会は、この悲しみを力に、断固とした決意をもって、ともに生きる社会の実現をめざし、「ともに生きる社会かながわ憲章」を定めました。

かながわ憲章 検索



【上記記事に関する問合せ】 県共生推進本部室 ☎045(210)4961 FAX 045(210)8854

5月・6月は不正大麻・けし撲滅運動期間です。

大麻草・植えてはいけないけしを見つけたら、抜かずにお知らせください。【問合せ先】県薬務課 ☎045(210)4972



かながわキンタロウ